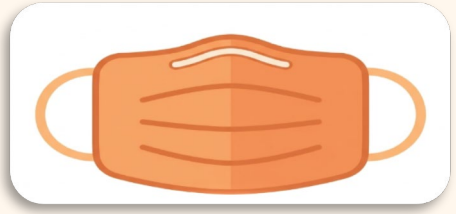
9月17日は「世界患者安全の日」

持病をお持ちのみなさまへ
安全な医療を、ご一緒に。



がん・心臓病・糖尿病など持病の治療をされている方へ

キャンペーンテーマ

非伝染性疾患（持病）に対する安全なケア

世界共通スローガン

生涯にわたる安全なケアを！

患者さん・ご家族と医療者がチームになって安全を守ります

世界患者安全の日

安全のための習慣 ①

「お薬」と「受診状況」を伝えましょう

「お薬手帳」は毎回お見せください

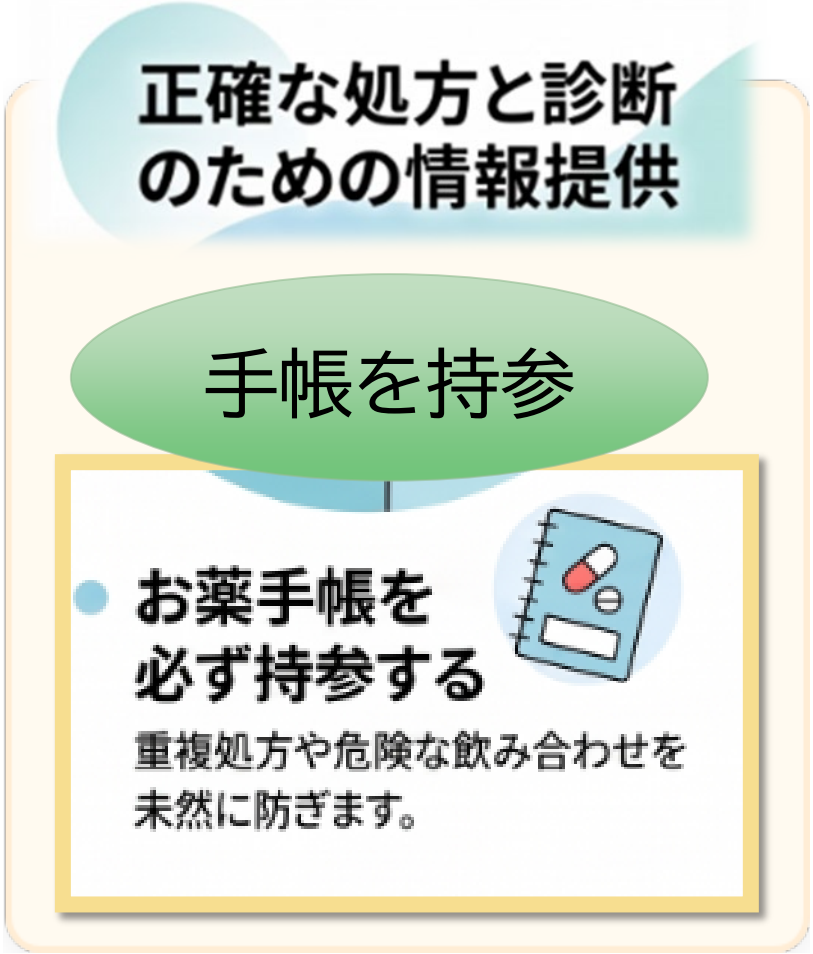
飲み合わせや同じ薬の重複を防ぎ、安全な処方につながります。

他院の薬やサプリメントも伝える

市販薬や他院のお薬、健康食品も医療スタッフにお知らせください。

変更されたお薬の確認

「増えた薬」「中止になった薬」がないか、一緒に確認しましょう。



正確な処方と診断のため、日頃のお薬情報の共有にご協力ください

世界患者安全の日

安全のための習慣② 検査結果を「確認」し、疑問は「質問」しましょう

検査結果は自分でも確認する

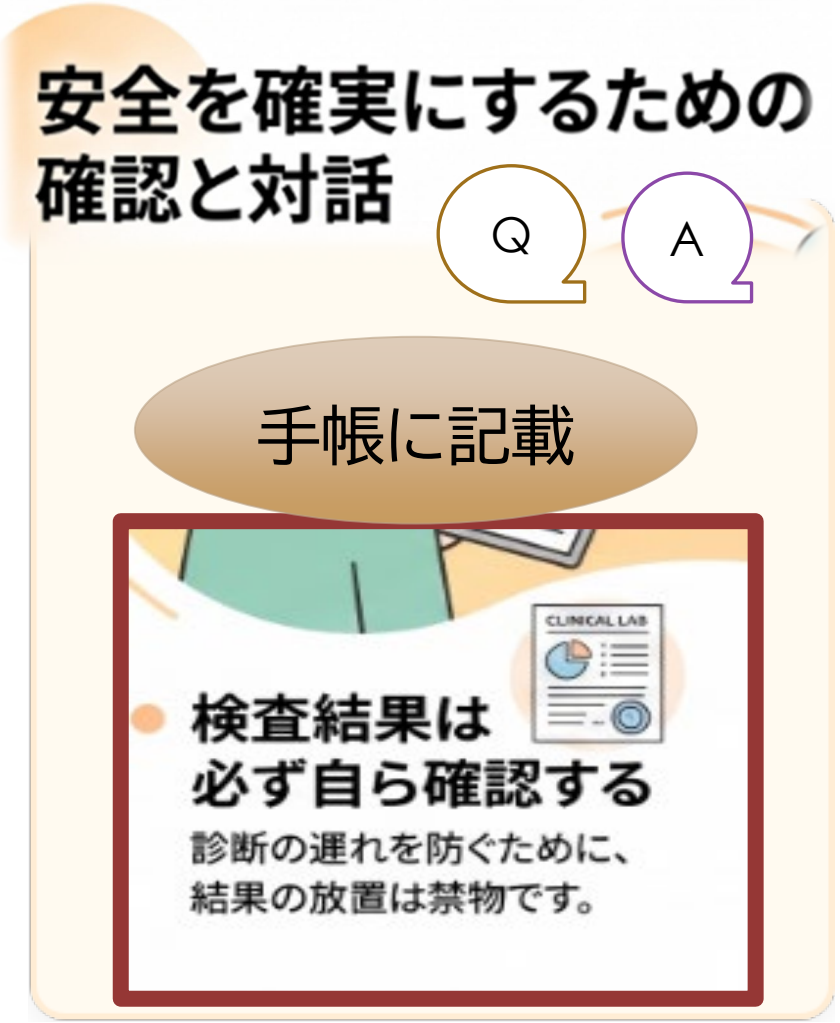
受けた検査はそのままにせず、「前回との違い」を一緒に確認しましょう。

疑問や不安は遠慮なく質問する

「いつもと体調が違う」「説明でわからないこと」は気軽におたずねください。

何度でも聞いて大丈夫です

納得して安心して治療を受けることが、医療事故を防ぐ第一歩です。



気になることや不安な点がありましたら、いつでもスタッフにお声がけください

世界患者安全の日